

外科手術体験セミナー&飲食店街夜間巡回指導&ふなばし市民まつり



8月を目前に控え、各地で夏祭りのムードが高まる中、立佞武多はふなばし市民まつりに出陣しました。

沿道の皆さんからは大きな歓声上がり、改めて立佞武多のインパクトは抜群であると感じています。11月の青森県津軽観光物産首都圏フェアでも、しっかりと当市の魅力をPRしたいと思っています。

6月29日 外科手術体験セミナー in五所川原

6月29日、つがる総合病院において、弘前大学医学部附属病院外科主催の「外科手術体験セミナーin五所川原」が開催されました。

指導医46名、研修医11名、弘前大学医学部生22名および県内の高校生56名参加のもと、最新の内視鏡外科手術操作、超音波メスによる模擬手術体験などの体験型プログラムが実施されました。

参加した高校生の皆さんにとっては、実際の手術手技を体験することができる大変、有意義な経験であったと思います。医師の仕事にふれ、1人でも多くの高校生の方が地域医療を支える医師を志すきっかけになることを期待しています。



7月24日 飲食店街夜間巡回指導

いよいよ夏本番を迎え、「立佞武多」をはじめ、各地でたくさんの祭りが開催されます。観光やレジャー、帰省による交通量の増加に加え、飲酒の機会も多くなることから、交通事故の発生が懸念されます。

このような事故の発生がないよう、7月21日～31日の期間で開催されている夏の交通安全県民運動に伴い、飲食店街を巡回し、ハンドルキーパー運動の推進と飲酒運転の根絶について呼びかけました。

飲酒運転により車は走る凶器になり得ます。飲酒運転は絶対に行わないようにしてください。



7月28日 第52回ふなばし市民まつり

7月28日、千葉県船橋市で開催された第52回ふなばし市民まつりに五所川原立佞武多が出陣しました。

同まつりは、60万もの人が訪れる船橋市では恒例のイベントで、今回は、毎年11月に同市で開催している青森県津軽観光物産首都圏フェアが、今年20回目を迎えることを記念し、実現しました。

当日は、台風の影響が心配されたものの、青空が広がり、多くのお客さんに中型立佞武多「不動明王」の勇姿と、力強いお囃子を披露することができました。

沿道からも「ヤッテマレ、ヤッテマレ」の掛け声や拍手喝采が起こるなど、大いに盛り上がりました。



五所川原工業高等学校 インターハイ出場



インターハイへ出場したバレーボール部の皆さん

7月24日～8月20日にかけて、九州南部地方を主会場として開催された令和元年度全国高等学校総合体育大会に出場した五所川原工業高等学校の皆さんが7月23日、市長を表敬訪問しました。

今回、インターハイへ出場したのは、男子バレーボール、少林寺拳法、ウエイトリフティング、陸上、ボクシングの5競技で、男子バレーボールがインターハイへ出場するのは6年ぶりのことです。

男子バレーボール部キャプテンの倉光雄大さんは「6年ぶりのインターハイ出場となり、とても嬉しい。春高バレーとインターハイでは少し緊張感が違う。自



インターハイへ出場した少林寺拳法部・ウエイトリフティング部・陸上部・ボクシング部の皆さん

分のテーマである、攻めることを忘れない、を貫き頑張りたい」と、少林寺拳法部主将の野宮白夢さんは「県代表ということを自覚し、精一杯、頑張りたい」と、ウエイトリフティング部の山口由祐さんは「新聞に大きく写真が掲載されるように、頑張りたい」と、陸上部の野宮永琉舞さんは「福土加代子さんの「願えば叶う」という言葉を信じ練習をしてきた。支えてくれた先生や仲間、両親へ感謝し、練習の成果をインターハイにぶつきたい」と、ボクシング部の八木橋光さんは「日々の練習の成果を出し切り、高校生らしいクリーンな試合をしたい」と意気込みを話しました。